

中期経営計画「こうぎん新創造 第Ⅱ期：進化」2021-2023年度

2021-2023年度

中期経営計画は

「進化」のステージへ

社会環境の急激な変化を踏まえた
ビジネスモデルと財務力の向上



目指す姿

地域の価値向上に
貢献する金融インフラ

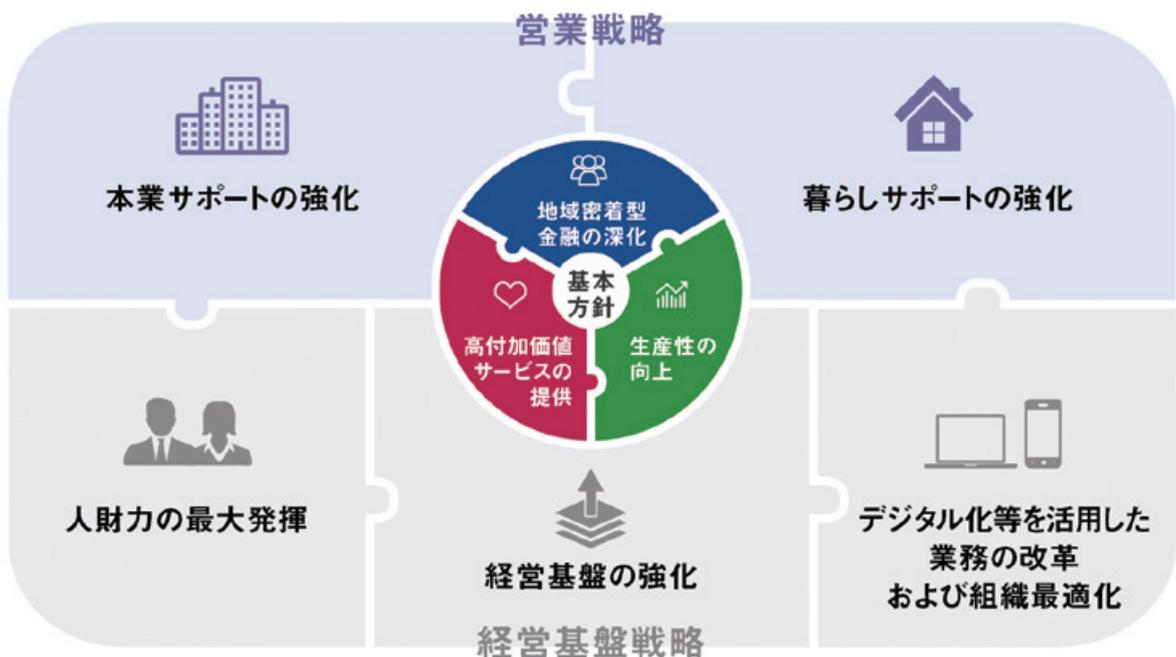
- 地域密着型金融を深化させ、付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの価値向上をサポートする。
- 地域全体の価値向上を提案し、その活動を支援する金融インフラとなる。

外部環境

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大
- ・ SDGs、ESGへの関心の高まり
- ・ 人口減少
- ・ 金利スプレッドの縮小
- ・ 顧客の世代交代
- ・ デジタルネイティブ世代の成熟
- ・ 営業手法やツールの多様化
- ・ 地域金融機関を取り巻く経営環境の変化
- ・ 地方創生への取り組みの活発化
- ・ 南海トラフ巨大地震の発生リスクの高まり

「こうぎん新創造 第Ⅱ期：進化」の3つの基本方針と5つの基本戦略

目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」の実現に向け、基本方針に基づく従来からの施策を「進化」させ、新たに策定した「営業戦略」と、その効果を最大限に引き出していくための「経営基盤戦略」に取り組んでまいります。



前中期経営計画について

□ 主要計数目標と実績

(単位：百万円)

コア業務純益		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	目 標	1,957	1,940	2,423
	実 績	1,521	2,235	2,632
	計画対比	△ 436	295	209

※コア業務純益（業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益）

(単位：%)

業務粗利益経費率		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	目 標	71.19	71.37	70.03
	実 績	73.16	72.53	74.79
	計画対比	1.97	1.16	4.76

※業務粗利益経費率（（経費－機械化関連費用）÷業務粗利益）

(単位：億円)

当期純利益		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	目 標	15	15	16
	実 績	9	12	7
	計画対比	△ 6	△ 3	△ 9

(単位：%)

自己資本比率		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	目 標	9.4%程度	9.3%程度	9.3%程度
	実 績	9.60	9.25	9.43
	計画対比	0.20	△ 0.05	0.13

□ 地域密着型金融の深化

(単位：億円)

中小規模事業者等 向け貸出残高		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	目 標	3,968	3,985	4,003
	実 績	4,045	4,258	4,565
	計画対比	77	273	562

(単位：%)

経営改善支援等の 取組比率		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	目 標	4.83	4.92	5.00
	実 績	7.86	8.17	5.88
	計画対比	3.03	3.25	0.88

コロナ禍により厳しい状況の中、金融仲介機能を発揮して地域の中小企業の皆さまに対する資金繰り支援に真摯に取り組み、中小規模事業者等向け貸出残高は計画を上回る実績となりました。一方、低金利環境の継続により貸出金利息収入は計画を下回ったほか、経営改善支援を強化するため貸倒引当金の見積り方法を変更して積み増したこともあって、実質与信費用は増加しました。また、経費の圧縮に努めたものの、資金利益や役務取引等利益が計画を下回ったこと等により、業務粗利益経費率および当期純利益は計画未達成となりました。

なお、預金等残高および貸出金残高は過去最高値を上回る実績で推移しております。

今後は、新中期経営計画の達成に向け総力を挙げ取り組んでまいります。